

和本古言梯（抄）

—和装資料訂用語の考察—

山 中 康 行

はじめに

和装資料の名称のあいまいさは、使用者が勝手に気ままな使い方をされてきたため、いまだに「同名異装、異名同装」の混乱が生じている。本論は、1900年から2012年の間に公にされた資料をもとに、和装資料の名称の用語を載録し、五十音順に配列することによって、各論者の主張を比較しやすく構成をした。「書物の装幀のことを云々するようになったのは、「書誌学」という術語が流行してから後、つまり、昭和時代に入ってから後のことであった。」という先学者、山岸徳平の卓見を引用して、執筆の意図とする。

各用語の詳細説明は、拙著「20世紀における和装本装訂名称研究の展開—和本装訂名称に関する一考察—（図書館情報学紀要3 京都女子大学2016. 2）を参照されたい。

〈収録文献〉

1918年代から2012年に刊行された資料から抽出

- 1918 和田維四郎『訪書余録』著者私刊本（新装複製版 臨川書店 1978）
- 1920 吉澤義則「和漢書の装潢について」『図書館雑誌42』
- 1932 田中敬『粘葉考 上下』覆刻版 早川書店
- 1939 『書誌学』第12巻1号「本会（日本書誌学会）制定術語原案」『書誌学』昭和9（1934）年11月「日本書誌学会制定術語」『書誌学会』昭和14（1939）年2月
- 1941 上田徳三郎『製本乃輯』
- 1943 日本書誌学会『書誌学 第壹巻 第貳号』（58p）『書誌学 第参巻 第五号』（55p）
- 1960 長澤規矩也『書誌学序説』
- 1966 伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』
- 1967 植村長三郎『図書館学・書誌学辞典』
- 1972 川瀬一馬『日本書誌学概説—増訂版—』東京 凸版印刷
- 1974 橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』笠間書店
- 1974 長澤規矩也『図解 図書館学』
- 1976 長澤規矩也『古書のはなし—書誌学入門—』富山房
- 1977 山岸徳平『書誌学序説』東京 岩波書店
- 1979 池上幸二郎・倉田文夫『本の作り方』東京 主婦と生活社
- 1982 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』

- 1987 遠藤諦之輔『古文書補修六十年』東京 汲古書店
1990 「国文学研究資料館 第44回常設展示」解説
1991 藤井隆『日本古典書誌学総説』大阪 和泉書院
1995 中野三敏『書誌学談義—江戸の版本—』東京 岩波書店
1995 国文学資料館 第61回展示(平成7年6月)解説書
1997 櫛笥節男『大和綴について』書陵部紀要 第48号
1998 広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』京都 世界思想社
1998 『広辞苑』第5版 東京 岩波書店
1998 中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』東京 雄山閣
2002 藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9 No. 436
2003 杉浦克己『改訂版 書誌学』東京 財団放送大学教育振興会
2003 国文学研究資料館 展示解説「和書のさまざま」
2004 藤森馨「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98 No. 2
2004 山本信吉『古典籍が語る 書物の文化史』
2005 橋口侯之介『和本入門』
2006 櫛笥節男『書庫渉獵』東京 おうふう
2006 吉野敏武『古典籍の装幀と造本』印刷学会出版部
2008 中野三敏「和本教室四 和本のできるまで」『図書』岩波書店
2008 藤本孝一『文書・写本の作り方』日本の美術 No. 505
2008 『広辞苑』第6版
2010 堀川貴司『書誌学入門—古典を見る・知る・読む—』勉誠社
2012 国立国会図書館 H.P

〈凡例〉

1. 記載順序：用語、著者、説明文、典拠
2. 用語の配列：五十音順
3. 見出し：旧漢字は現代漢字に改めた。
4. 説明文：旧仮名遣いはそのまま使用した。
5. → …… は、……を見よ表示。
6. →：…… は、……をも見よ表示。
7. [] 内は執筆者が説明のために挿入した。
8. 同一用語内の掲載は刊行年順に掲げた。
9. 用語漢字の読み

筆者が付記している場合()内にひらがな表記をした。付記していない場合(—)で示した。同じ書籍で他の箇所から類推できる場合()内にひらがなで表記をした同じ用語で読みが同じ場合、公表年順に掲載した。

（図書は発行年、雑誌論文等は論文が掲載された雑誌等の発行年順）読み方が同じで、使用されている漢字が異なる場合には、画数の少ないものから多いものへと掲載した。

典拠とした書籍に「ふりがな」が示されていない場合には、その用語のふり仮名のついて
いるものにつづけて掲載した。

例) 綴葉装（てつちょうそう）

綴葉装（てっちょうそう）

綴葉装（ — ）読みが不明な場合

10. 図のあるものは（図）として示した。

- あさのはとじ
 麻の葉綴 (アサノハトヂ)
 上田徳三郎『製本』(28p) (図)
- 麻の葉綴
 上幸二郎・倉田文夫『本のつくりかた』
 (42p) (図)
- 麻の葉綴
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(3p)
 (図)
- 麻の葉綴
 藤井隆『日本古典書誌学総説』(67p)
 (図)
- 麻の葉綴 → 袋綴
 中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
 (30p) (図)
- いちまいもの
 一枚物 → 畳み物
 長澤規矩也『古書のはなし 一書誌学入
 門一』(18p)
- 一枚物
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(17p)
- 一枚物
 広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
 ぶ人のために』(63p)
- いつつあなとじ
 五つ穴綴じ
 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
 一』(93p)
- いつつめとじ
 五つ目綴
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(20p)
- いととじ
 糸とじ
 橋本不美男『原典をめざして 古典文学
 のための書誌』(110p)
- 糸綴
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(21p)
- いととじぼん
 糸綴じ本 (大和綴じ)
 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
 一』(83p)
- うわとじ
 上綴 (本綴)
 櫛笥節男『書庫渉獵』(37p)
- おおがたはん
 大形 (型) 判
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(46p)
- 大型判
 長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
- おおがたぼん
 大型本
 長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
- おおほん
 大本
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(49p)
- 大本 (おおほん)
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
- おおぼん
 大本
 長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
- 大本
 『日本書誌学概説 増訂版』(115p)
- 大本
 長澤規矩也『図解図書学』(60p)
- 大本
 長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
- 大本 → 美濃紙
 池上幸二郎『本のつくりかた』(25p)
- 大本 (オオホン・ダイホン)
 藤井隆『日本古典書誌学総説』(71p)
- おおぼん
 大本 (美濃本)

- 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（60p）
大本
橋口侯之介『和本入門』（67p）
おりがみそう
折紙装（おりがみそう）
藤本孝一『古写本の姿 日本の美術9 No. 436』（51p）
おりがみれっちょう
折紙列帖
国文学資料館 第61回展示（平成7年6月）解説書
おりがみれつじょうそう
→ 双葉列帖装
国文学研究資料館「和書のさまざま」
おりじょう
折帖 [おりじょう]
橋口侯之介『和本入門』（31p）
おりじょうしたて
折帖仕立 [おりじょう]
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』（85p）
（おりじょうじたて）
折帖仕立て
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（76p）
折帖仕立
藤井隆『日本古典書誌学総説』（59p）
折帖仕立（おりじょうじたて）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
おりたたみもの
折畳みもの
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（113p）
おりちょう
折帖
中野三敏「和本教室四 和本のできるま
- で」『図書』（62p）
おりちょうじたて
国文学研究資料館 第61回展示解説書
おりちょうしたて
折帖仕立て → 帖仕立て [ちょう]
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（74p）
おりほん
折本 → 摺本
和田維四郎『訪書餘録』（51p）
折本
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図書館雑誌』42号（422p）
折本
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』（45p）1966
折本
長澤規矩也『書誌学序説』（45p）
折本
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（119p）
折本
山岸徳平『書誌学序説』（77p）
折本
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』（52p）
折本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（56p）
折本
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』（80p）
折本（経本・習字本）
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』（69p）
折本
藤井隆『日本古典書誌学総説』（54p）
折本

- 国文学研究資料館 第44回常設展示解説
折本
廣庭基介・長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』(60p)
- 折本
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(34p)
- 折本
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 折本
橋口侯之介『和本入門』(30p)
- 折本
吉野敏武『古典籍の装幀と造本』印刷学会出版部
- 折本
『広辞苑』第5版 p. 413. 『広辞苑』第6版 (437p)
- 折本
櫛笥節男『書庫渉獵』(16p)
- 折り本 → 帖装本
長澤規矩也『図解図書学』(48p)
- 折り本 → 帖装
長澤規矩也『古書の話 書誌学入門』(18p)
- おりほんじたて
折本仕立
吉澤義則『和漢書の装潢に就いて』図書館雑誌 第42号 (420p)
- おりほんそう
折本装
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(33p)
- 折本装 (おりほんそう)
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9 No. 436 (51p)
- 折本装
藤本孝一『文書・写本の作り方』日本の美術 No. 505 (43p)
- おりほんそうほん
折本装本
山本信吉『古典籍が語る 書物の文化史』(54p)
- かいちゅうぼん
懐中本 (かいちゅうぼん)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- かけじく
掛軸 (かけじく)
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』(43p)
- かさねとじ
重ね綴じ
襲 (かさね) 綴じ
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(36p)
- がじょうじたて
画帖仕立て → ちょうしたて 帖仕立て
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(74p)
- 画帖仕立
中野三敏「和本教室四 和本のできるまで」『図書』岩波書店 2008. 9 (62p)
- 画帖装
国文学研究資料館 第61回展示解説書
- かためんおりちょうじたて
片面折帖仕立
藤井隆『日本古典書誌学総説』(59p)
- がじょうそう
画帖装
国文学研究資料館 第61回展示解説書
- がちょうしたてのおりほん
画帖仕立ての折本
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』(52p)
- からとじ

- 唐綴 → 長澤規矩也『書誌学序説』（55p）
唐綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（70p）
唐綴 → 大和綴
唐綴（袋綴）川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（282p）
唐綴 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』
唐綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』
唐綴 → 線装本
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol.98.No.2（106p）
唐閉 → 長澤規矩也『書誌学序説』（55p）
からほん
唐本
長澤規矩也『図解書誌学入門』
からほんしたて
唐本仕立 → 長澤規矩也『書誌学序説』（55p）
かりとじ
仮綴（カリトヂ）
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（113p）
仮綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（70p）
仮綴
国文学研究資料館第61回展示解説書
仮綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』（69p）
仮綴
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』（33p）
仮綴じ
山岸徳平『書誌学序説』（106p）
かんすそう
卷子装
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9 No.436（31p）
かんすそうぼん
卷子装本
山本信吉「古典籍が語る」『書物の文化史』（51p）
かんすぼん
巻古本（かんす）
伊地知鐵雄『日本古文書学提要 上巻』（42p）1966
卷子本
長澤規矩也『書誌学序説』（42p）
卷子本（クワンスボン）
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（108p）
卷子本
長澤規矩也『図解図書館学』（46p）
卷子本
長澤規矩也『図解書誌学入門』（5p）
卷子本
長澤規矩也『古書の話 書誌学入門』（14p）
卷子本
山岸徳平『書誌学序説』（74p）
卷子本
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』（48p）
卷子本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（74p）
卷子本 — 巻物仕立
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』（74p）
卷子本
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』（59p）
卷子本

- 藤井隆『日本古典書誌学総説』(54p)
卷子本
国文学研究資料館 第61回展示解説書
卷子本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(72p)
卷子本
中野三敏「和本教室四 和本のできるまで」『図書』岩波書店 2008.9 (62p)
卷子本
廣庭基介・長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』(57p)
卷子本(卷子装)
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(28p)
卷子本
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(33p)
卷子本
国文学研究資料館「和書のさまざま」
卷子本(カンスボン)
橋口侯之介『和本入門』(27p)
卷子本
吉野敏武『古典籍の装幀と造本』(26p)
卷子本
櫛笥節男『書庫涉獵』(12p)
卷子本
『広辞苑』第5版(603p)
卷子本
藤本孝一『文書・写本の作り方』日本の美術 No.505 (59p)
卷子本
『広辞苑』第6版(635p)
かんぼん
韓本(朝鮮本)
長澤規矩也『図解書誌学入門』(8p)
韓本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(76p)
きっこうとじ
亀甲綴(キッコウトジ)
上田徳三郎『製本』(28p)
亀甲綴
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』(43p)
亀甲綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(76p)
亀甲綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』(67p)
亀甲綴 → 袋綴
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(30p)
きょうおりそう
経折装
吉野敏武『古典籍の装幀と造本』(103p)
きんそうぼん
巾箱本 → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』
くるまそうし
車草子
長澤規矩也『図解図書学』(49p)
長澤規矩也『書誌学序説』(56p)
くるまぞうし
車草子(くるまぞうし)(双紙(ぞうし))
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(95p)
くるみびょうし
くるみ表紙
『書誌学』第参卷第五号 日本書誌学会(55p) → 包背装
くるみ表紙
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』(49p) 1966
くるみ表紙

- 長澤規矩也『書誌学序説』（49p）
くるみ表紙 → 包背装
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（8p）
くるみ表紙
長澤規矩也『図解図書学』（56p）
くるみ表紙 → 包背装
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
くるみ表紙 → 包背装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（21p）
くるみ表紙 → 包み表紙
山岸徳平『書誌学序説』（107p）
くるみ表紙
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（95p）
くるみ表紙 → 包背装
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』（106p）
くるみ表紙 → 包背装（ほうはいそう）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
くるみ表紙（包背装）
櫛笥節男『書庫涉獵』（32p）
包み表紙（くるみびょうし）
『広辞苑』第6版（835p）
- けいへきぼん
奎璧本 → 袖珍本
長澤規矩也『書誌学序説』（59p）
奎璧本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（99p）
- けしほん
芥子本
豆本（まめほん）。「豆本」を見よ。川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（99p）
- けしぼん
芥子本 → 袖珍本
長澤規矩也『書誌学序説』（59p）
- 芥子本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』（25p）
芥子本 [[「ほん」か「ぼん」か読みが不明のためここに置いた] → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』
けんすぼん
卷子本 → かんすぼん
植村長三郎『図書館学・書誌学辞典』（6p）
卷子本 → かんすぼん
長澤規矩也『古書のはなし』（15p）
卷子本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（101p）
卷子本 → かんすぼん
広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』（60p）
- こうきとじ
康熙とじ → 線装本
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
康熙綴じ
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（93p）
康熙綴（コウキトジ）（又は単に康熙）
上田徳三郎『製本』（26p）
康熙綴
長澤規矩也『書誌学序説』（55p）
康熙綴
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（113p）
康熙綴
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
康熙綴 → 線装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（22p）
康熙綴 → 袋綴

- 山岸徳平『書誌学序説』
康熙綴
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(41p)
康熙綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(106p)
康熙綴
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(112p)
康熙綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』(66p)
康熙綴
国文学資料館 第61回展示解説書
康熙綴 → 袋綴
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
(30p)
康熙綴 (こうきとじ)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
ごしんがんでいほう
五針眼訂法
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』(22p)
五針眼訂法 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』
五針眼訂法
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(120p)
五針眼訂法 → 袋綴
広庭基介・長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』(68p)
五針眼訂法 (ごしんがんでいほう)
→ 朝鮮綴 (ちょうせんとじ)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
こちょうそう
胡蝶装
和田維四郎『訪書餘録』(51p)
胡蝶装
日本書誌学会『書誌学 第参卷 第五
号』(55p)
胡蝶装
長澤規矩也『図解図書学』(54p)
胡蝶装
長澤規矩也『図解書誌学入門』(6p)
胡蝶装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』(20p)
胡蝶装 → 粘葉装
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(59p)
胡(蝴)蝶装
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(120p)
胡蝶装
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(114p)
胡蝶装
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』(71p)
これは綴葉装とも言われています。遠藤
諦之輔『古文書補修六十年』(77p)
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』(192p)
胡蝶装 → 粘葉装 デツチヨウソウ
藤井隆『日本古典書誌学総説』(60p)
胡蝶装
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(83p)
胡蝶装
櫛笥節男『大和綴について』書陵部紀要
第48号 (80p)
胡蝶装
廣庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』(65p)
胡蝶装 → 粘帖装
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(35p)
胡蝶装

- 藤森薫『古典籍装訂用語の整理に関する
試論』図書館雑誌 Vol. 98. NO. 2 (107p)
蝴蝶装
吉澤義則『図書館雑誌』42号 (424p)
蝴蝶装
田中敬『粘葉考』(71p) (図)
蝴蝶装
長澤規矩也『書誌学序説』(47p)
蝴蝶装
長澤規矩也『図解書誌学入門 (図書学図
録入門編4)』(6p)
蝴蝶装
山岸徳平『書誌学序説』(83p)
こちょうそう
糊牒装 → 粘葉装
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(59p)
こちょうつづり
胡蝶綴 (コテフツヅリ)
上田徳三郎『製本』(31p)
こちょうとじ
胡蝶とじ
植村長三郎『図書館学・書誌学辞典』
(166p)
こていがたせんぷうよう
固定形旋風葉
藤井隆『日本古典書誌学総説』(57p)
こほん
小本
長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
小本
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
(115p)
小本
長澤規矩也『図解図書学』(60p)
小本 → 大本
- 長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
小本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(125p)
小本
半紙本の半分の大きさの本。藤井隆『日
本古典書誌学総説』(74p)
小本 (こほん)
半紙本の半分の大きさの本。国文学研究
資料館「和書のさまざま」
小本
橋口侯之介『和本入門』(68p)
こぼん
小本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(62p)
こより
紙捻
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(126p)
こよりとじほん
紙捻 (紙縫・紙撚) 綴本
山本信吉『古典籍が語る 書物の文化
史』(76p)
こんにゃくぼん
蒟蒻本 → こぼん (小本)
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(62p)
さっし
冊子
和田維四郎『訪書餘録』(51p)
冊子
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図
書館雑誌』42号 (428p)
冊子
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(81p)
さっしぼん

- 冊子 (さつし) 本
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』
(43p) 1966
- 冊子本
櫛笥節男『書庫涉獵』(27p)
- さんしんがんでいほう
三針眼訂法 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』(108p)
- ししんがんでいほう
四針眼訂法 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』(108p)
- 四針眼訂法
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(136p)
- 四針眼訂法
山岸徳平『書誌学序説』(108p)
- 四針眼訂法
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(112p)
- 四針眼訂法 (ししんがんでいほう)
→ 四つ目綴 (よつめとじ)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 四針眼訂法 → 線装本
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する
試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No 2 (106p)
- しゅかん
手巻 → 卷子本
広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』
- したて
仕立て
山岸徳平『書誌学序説』(74p)
長澤規矩也『古書のはなし—書誌毛矩入
門— (18p)
- したとじ
下綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(138p)
- 下綴
櫛笥節男『書庫涉獵』(37p)
- していそう
紙釘装 (していそう)
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』
(49p) 1966
- 紙釘装
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(139p)
- 紙釘装
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(109p)
- 紙釘装
藤諦之輔『古文書補修六十年』(102p)
- 紙釘装
藤井隆『日本古典書誌学総説』(70p)
- 紙釘装
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
(33p)
- 紙釘装 (していそう)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 紙釘装
櫛笥節男『書庫涉獵』(32p)
- していとじ
紙釘綴
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9
No. 436 (54p)
- しゅうほん
摺本
荒木一馬『日本書誌学用語辞典』(145p)
- しゅうほん
摺本 → 帖装本
長澤規矩也『図解図書館学』(48p)
- 摺本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(145p)
- しゅうじのてほん
習字の手本 → 折本

- 橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』
- しゅうちんぼん
袖珍本
長澤規矩也『書誌学序説』（59p）
袖珍本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（145p）
袖珍本 → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
袖珍本（しゅうちんぼん）
→ 特小本（とくこほん）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- じょう
帖
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（147p）
- じょうしたて
帖仕立
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』（72p）
- じょうそう
帖装
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（149p）
- じょうそうぼん
帖装本
長澤規矩也『図解図書学』（48p）
帖装本
長澤規矩也『図解書誌学入門』（5p）
帖装本
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』（18p）
帖装本 → 折本
国文学研究資料館「和書のさまざま」
帖装本
櫛筒節男『書庫涉獵』（16p）
- しょうばん
小板
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（151p）
- しょうほん
摺本 → 折本
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』（80p）
摺本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（153p）
- じょうほん
帖本 → 折本
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』（80p）
- しょうけい
書型
橋口侯之介『和本入門』（66p）
- しんちょうがた
清朝型 → 縦長本（清朝仕立て、清朝型）
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- しんちょうしたて
→ 縦長本（清朝仕立て、清朝型）
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- すりほん
摺本
和田維四郎『訪書餘録』（51p）
摺本
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図
書館雑誌』第42号（420p）
摺本
長澤規矩也『書誌学序説』（45p）
摺本
山岸徳平『書誌学序説』（79p）
摺本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（165p）
- すんちんぼん

- 寸珍本 → 袖珍本
長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
- 寸珍本
ポケット用の特小本。長澤規矩也『図解
図書学』(62p)
- 寸珍本
豆本(まめほん)。「豆本」を見よ。川
瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(167p)
- 寸珍本(すんちんぼん)
→ 特小本(とくこほん)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 寸珍本 → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- せんそう
線装
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
(113p)
- 線装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』(22p)
- 線装
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(150p)
- 線装
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(107p)
- 線装
山本信吉『古典籍が語る 書物の文化
史』(75p)
- せんそうとじ
線装綴
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9
No. 436 (54p)
- せんそうぼん
線装本
長澤規矩也『書誌学序説』(55p)
- 線装本
長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
- 線装本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(170p)
- 線装本 → 袋綴じ
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- 線装本
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する
試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2 (106p)
- 線装本(せんそうぼん)
橋口侯之介『和本入門』(37p)
- せんそうぼんふくろとじ
線装本袋綴
吉野敏武『古典籍の装幀と造本』(118p)
- せんてい
線訂
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(108p)
- せんぷうそう
旋風装
藤本孝一『文書・写本の作り方』日本の
美術 No. 505 (62p)
- せんぷうよう
旋風葉
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図
書館雑誌』第42号(428p)
- 旋風葉(せんぷうよう
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』
(45p) 1966
- 旋風葉
長澤規矩也『書誌学序説』(45p)
- 旋風葉(センブウエフ)
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
(7p)

- 旋風葉
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（18p）
- 旋風葉
山岸徳平『書誌学序説』（79p）
- 旋風葉
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』（57p）
- 旋風葉
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（171p）
- 旋風葉
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』（73p）
- 旋風葉
藤井隆『日本古典書誌学総説』（57p）
- 旋風葉
国文学研究資料館 第61回展示解説書
- 旋風葉
廣庭基介・長友千代『日本書誌学を学ぶ人のために』（62p）
- 旋風葉
杉浦克巳『改訂版 書誌学』（35p）
- 旋風葉
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 旋風葉
櫛笥節男『書庫渉獵』（20p）
- 旋風葉
『広辞苑』第5版（1531p）
- せんふうようそう
- 旋風葉装
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』（66p）
- そうこう
- 装潢
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図書館雑誌』第42号（420p）
- 装潢
- 田中敬『粘葉考 上下』
- 装潢
長澤規矩也『書誌学序説』（52p）
- 装潢 → 装訂
長澤規矩也『古書のはなし』（10p）
- 装潢 → 装幀
山岸徳平『書誌学序説』（71p）
- そうし
- 册子
田中敬『粘葉考 上下』
- 册子
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（113p）
- そうしぼん
- 冊子本
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（7p）
- そうてい
- 装丁 → 装潢
長澤規矩也『古書のはなし』（10p）
- 装丁
杉浦克巳『改訂版書誌学』（33p）
- 装訂
長澤規矩也『書誌学序説』（52p）
- 装訂
装訂（装潢 潢とは紙を強くする為に染める意）は、書籍の形態の根本である。
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（7p）
- 装訂
長澤規矩也『図解書誌学入門』（3p）
- 装訂
長澤規矩也『古書のはなし』（10p）
- 装訂（幀・釘）
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』東京、雄松堂、1982.（175p）

装訂

中野三敏『書誌学談義 江戸の版本』
(72p)

装訂

廣庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』(55p)

装訂

藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9
No. 436 (48p)

装訂

中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(72p)

装訂

国文学研究資料館「和書のさまざま」
「そうてい」の「てい」の字について
「訂」、「幀」、「釘」、「丁」の文字が使わ
れ一定していないが、各種辞典について
の説明によれば「装訂」が正しいとある。
諸橋轍次編『大漢和辞典』、『日本国語大
辞典』小学館 第二版 2001粘、川瀬一
馬著『日本書誌学事典』雄松堂 1982年、
長澤規矩也編著『図書学辞典』汲古書院
1979年、『国史大事典』吉川弘文館
1979年、『大百科事典』1984年、第五版
『広辞苑』。櫛笥節男『書庫渉獵』(15p)

装釘

「書誌学」第壹卷第貳号 日本書誌学会
(40p)

装釘 → 装訂

長澤規矩也『古書のはなし』(10p)

装釘

長澤規矩也『図解図書学』(52p)

装釘 → 装幀

山岸徳平『書誌学序説』(71p)

装幀

和田維四郎『訪書餘録』(51p)

装幀

『書誌学』第参卷第五号 日本書誌学会
(54p)

装幀

山岸徳平『書誌学序説』(71p)

装幀

遠藤諦之輔『古文書補修六十年』(59p)

そうてい 【装丁・装釘・装幀】

『広辞苑』第5版。『広辞苑(第6版)』
東京、岩波書店、

装幀

橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(17p)

装幀 → 装訂

廣庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』(55p)

そうていほう

装幀法

橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』(73p)

そうようてつちょうそう

双葉綴葉装

藤井隆『日本古典書誌学総説』(63p)

そうようれつじょうそう

双葉列帖装

国文学研究資料館「和書のさまざま」

双葉列帖装

藤井隆『日本古典書誌学総説』

だいふくちょう

大福帳

上田徳三郎『製本』(38p)

大福帳

池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(73p)

だいふくちょうしき

大福帳式

- 山岸徳平『書誌学序説』（110p）
だいふくちょうじたて
大福帳仕立
山岸徳平『書誌学序説』
大福帳仕立
藤井隆『日本古典書誌学総説』
だいふくちょうそう
大福帳装
山岸徳平『書誌学序説』
だいほん
大本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（184p）
たたみもの
畳み物
長澤規矩也『図解書誌学入門』（6p）
畳み物
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（18p）
畳み物
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（185p）
畳み物
藤井隆『日本古典書誌学総説』（70p）
畳物 → 一枚物
廣庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』（63p）
たてちょう
豎帖
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（185p）
たてながぼん
たてなが本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（185p）
縦長本
長澤規矩也『書誌学序説』（60p）
縦長本（清朝仕立て、清朝型）
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（63p）
縦長本（たてながぼん）
国文学資料資料館「和書のさまざま」
縦長本
橋口侯之介『和本入門』（69p）
ちゅうほん
中本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（191p）
ちゅうぼん
中本
長澤規矩也『書誌学序説』（59p）
中本
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（115p）
中本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』（25p）
中本
長澤規矩也『図解図書学』（60p）
中本 → 大本
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
中本
藤井隆『日本古典書誌学総説』（73p）
中本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（61p）
中本
橋口侯之介『和本入門』（67p）
ちつがたおりほん
帙形折本
藤井隆『日本古典書誌学総説』（56p）
ちゅうほん
中本
国文学研究資料館「和書のさまざま」
ちょうしたて
帖[ちょう]仕立て
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』（74p）

- ちょうせんとし
朝鮮綴
長澤規矩也『書誌学序説』(55p)
朝鮮綴 (ちょうせんとし)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
朝鮮綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(193p)
朝鮮綴
国文学研究資料館 第61回展示解説書
朝鮮綴 (五つ目綴)
藤井隆『日本古典書誌学総説』(67p)
朝鮮綴
国文学資料館 第61回展示 (平成7年6月)
解説書
- ちょうせんぼん
朝鮮本
長澤規矩也『図解書誌学入門』(8p)
朝鮮本 → 韓本 (朝鮮本)
長澤規矩也『図解書誌学入門』(8p)
朝鮮本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(193p)
朝鮮本
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』
- ちょうそう
帖装 → 折本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』
帖装
長澤規矩也『書誌学序説』(45p)
帖装
長澤規矩也『古書の話 書誌学入門』(17p)
- ちょうそう
蝶装
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(192p)
ちょうそうぼん
帖装本 → 折本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』
帖装本
長澤規矩也『書誌学序説』(56p)
帖装本
長澤規矩也『図解図書学』(48p)
帖装本
長澤規矩也『図解書誌学入門』(5p)
帖装本 → 帖装
長澤規矩也『古書の話 書誌学入門』
蝶装本
長澤規矩也『書誌学序説』(45p)
- ちょうほん
帖本 → 帖装本
長澤規矩也『図解図書学』(48p)
- つぎがみ
継ぎ紙
山岸徳平『書誌学序説』(74p)
- つぎほん
継本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(194p)
- つつみひょうし
つつみ表紙 → 包背装
『書誌学』第参卷第五号 日本書誌学会
(55p)
つつみ表紙
長澤規矩也『書誌学序説』(49p)
包表紙
日本書誌学会 (46p)
包表紙
長澤規矩也『図解図書学』(56p)
包表紙
藤本孝一『文書・写本の作り方』日本の
美術 No. 505 (64p)
包表紙 (つつみびょうし)
『広辞苑』第6版 1876

- 包み表紙 → 包背装
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
- 包み表紙 → 包背装
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
- 包み表紙 → 包背装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（21p）
- 包み表紙
山岸徳平『書誌学序説』（107p）
- 包み表紙
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（195p）
- 包み表紙 → 包背装
藤井隆『日本古典書誌学総説』（66p）
- 包み表紙 → 包背装（ほうはいそう）
国文学研究資料館「和書のみざま」
- つつみひょうしがたおりほん
包み表紙形折本
藤井隆『日本古典書誌学総説』
- てかがみ
手鑑 → 折本
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』
- 手鑑
櫛笥節男『書庫涉獵』（24p）
- てかがみじょう
手鑑帖
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』（35p）
- てつちょうとじ
鉄杖閉
長澤規矩也『書誌学序説』（49p）
- 鉄杖閉 → 綴葉
長澤規矩也『日本書誌学概説 増訂版』（7p）
- 鉄杖閉
藤井隆『日本古典書誌学総説』（61）
- てつちょう
綴帖（一）（装） → 大福帳式
山岸徳平『書誌学序説』（102p.110p）
- てつちょう
綴葉（デツテフ）
日本書誌学会『書誌学』第参巻 第五号（55p）
- 綴葉（てつてふ）
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（7p）1972
- 綴帖装 → 大和綴・大福帳
山岸徳平『書誌学序説』（104p）
- 綴帖装 → 綴葉装
藤井隆『日本古典書誌学総説』（61p）
- 綴葉（てつちょう）
廣庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』（65p）1998
- てつちょうそう
綴葉装
長澤規矩也『書誌学序説』（49p. 57p）1960
- 綴葉装（テツエフサウ）
川瀬一馬『日本書誌学説増訂版』（111p）
- 綴葉装（一）
長澤規矩也『書誌学序説』（49p）
長澤規矩也『図解書誌学入門』（6p）
- 綴葉装（一）
長澤規矩也『図解書誌学入門』（6p）1976
- 綴葉装（一）
長澤規矩也『古書のはなし 一書誌学入門一』（20p）
- 綴葉装 → 大福帳式
山岸徳平『書誌学序説』（103p. 110p）
- 綴葉装（てつちょうそう）
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（197p）

- 綴葉装 (てつちょうそう) [列帖装 (レツ
ジョウソウ)。綴帖装 (テツジョウソウ)]
藤井隆『日本古典書誌学総説』(61p)
綴葉装 (てつようそう) (てっちょうそう)
→ 列帖装 (れつじょうそう / れっちょ
うそう)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
綴葉装 (てつちょうそう)
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
(28p) 1998
綴葉装 (てつちょうそう)
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9
No. 436 (51p)
綴葉装 (てっちょうそう) (てつようそう)
→ れつじょうそう 列帖装 (れつじょう
そう / れっちょうそう)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
2003
てっちょうそう
【綴葉装】(テイヨウソウとも)
『広辞苑』第5版 (1833p)
綴葉装 (てっちょうそう)
『広辞苑』第6版 (1924p) 2008
綴葉装 (—)
大和綴・綴葉装・列帖装
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する
試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2
(106p) 2004
綴葉装 (—) (列帖装)
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(36p)
てっちょうそう
綴帖装 (—) → 大福帳式
山岸徳平『書誌学序説』(103p)
てつちょうそうばん
綴葉装本 (てつちょうそうばん)
山本信吉『古典籍が語る 書物の文化
史』(65p) 2004
てつようそう
綴葉装
→ れつじょうそう 列帖装 (れつじょう
そう / れっちょうそう)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
てっちょうとじ
綴葉綴
長澤規矩也『書誌学序説』(57p)
でつちょう
粘葉
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図
書館雑誌』第42号 (425p. 428p)
粘葉 (蝶蝶装)
田中敬『粘葉考』(5p. 69p. 71p)
粘葉
日本書誌学会『書誌学』第参卷 第五号
(55p)
粘葉
植村長三郎『図書館学・書誌学辞典』
(318p)
粘葉
長澤規矩也『書誌学序説』(47p. 49p. 57p)
粘葉
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
(7p)
粘葉
藤井隆『日本古典書誌学総説』(61p)
粘帖装
長澤規矩也『書誌学序説』(57p)
粘葉装
和田維四郎『訪書餘録』(51p)
粘葉装 (でつちょうそ) (胡蝶装)
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』
(46p) 1966
粘葉装 (デツエフサウ)

- 川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
(111p)
粘葉装（でっちょう）
長澤規矩也『古書のはなし 一書誌学入門—』(20p) 1976
粘葉装（でつちょう）
山岸徳平『書誌学序説』(82p. 83p. 102p)
粘葉装
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(59p)
粘葉装（でつちょうそう）
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(197p)
粘葉装（でつちょうそう）
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(73p)
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(93p)
粘葉装
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』(192p)
粘葉装 デッチヨウソウ
藤井隆『日本古典書誌学総説』(60p)
粘葉装 デッチヨウソウ
藤井隆『日本古典書誌学総説』(60p)
粘葉装（でっちょうそう）
国文学研究資料館 第61回展示解説書
粘葉装（でつちょうそう）
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本—』(83p)
粘葉装
櫛笥節男「大和綴について」 書陵部紀要第48号 (80p)
粘葉装（でっちょうそう）
広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』(63p)
粘葉装（でつちょうそう）
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
(28p)
粘葉装（でっちょうそう）
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9 No. 436 (51p)
粘葉装
杉浦克巳『改訂版書誌学』(35p)
粘葉装（でっちょうそう）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
粘葉装
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No 2 (107p)
粘葉装（でつちょうそう）
橋口侯之介『和本入門』(31p)
粘葉装（でつちょうそう）
吉野敏武『古典籍の装幀と造本』(66p)
粘葉装（でっちょうそう）(胡蝶装)
櫛笥節男『書庫渉猟』(27p)
粘葉装
『広辞苑』第5版 1833p
粘葉装（でっちょうそう）
『広辞苑』第6版 1924p
でつちょうそうほん
粘葉装本
山本信吉『書物の文化史』(56p)
粘帖装（でっちょうそう）
*「よみ」執筆者に確認済
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(35p)
粘帖装（ — ）
長澤規矩也『書誌学序説』(57p)
長澤規矩也『古書の話—書誌学入門—』
(20p)
粘葉綴（ — ）
和田維四郎『訪書餘録』(51p)
粘葉綴 → 蝴蝶装
田中敬『粘葉考』(69p)

- 粘葉綴
長澤規矩也『書誌学序説』(57p) 1970
- 粘葉綴
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9
No. 436 (54p)
- とうほん
唐本
上田徳三郎『製本』(27p)
- 唐本
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(46p)
- 唐本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(208p)
- とうほんじたて
唐本仕立
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(208p)
- とくおおほん
特大本
藤井隆『日本古典書誌学総説』(71p)
- 特大本 (とくおおほん)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- とくおおほん
特大本
長澤規矩也『書誌学序説』(61p)
- とくこほん
特小本
長澤規矩也『書誌学序説』(61p)
- とくこほん
特小本
長澤規矩也『図解図書学』(60p)
俗称豆本 (62p)
- 特小本 → 大本
長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
- 特小本
藤井隆『日本古典書誌学総説』(73p)
- 特小本 → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- 特小本 (とくこほん)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- とくしょうほん
特小本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(209p)
- 特小本
橋口侯之介『和本入門』(68p)
- とくだいほん
特大本 → とくおおほん
藤井隆『日本古典書誌学総説』
- 特大本
橋口侯之介『和本入門』(68p)
- ながちょうとじ
長帳綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』(67p)
- 長帳綴
袋綴
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
(33p)
- なかとじ
中綴
倉田文夫『本のつくり方』(24p)
- のりいれがじょう
糊入れ画帖
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(52p)
- ばじょうぼん
馬上本 → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- はんしぼん

- 半紙本
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
(115p)
- 半紙本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』(25p)
- 半紙本
長澤規矩也『図解図書学』(60p)
- 半紙本 → 大本
長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
- 半紙本
藤井隆『日本古典書誌学総説』(73p)
- 半紙本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(61p)
- 半紙本 (はんしぼん)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 半紙本
橋口侯之介『和本入門』(68p)
- はんとりちょう
判取帳
上田徳三郎『製本』(38p)
- 判取帳
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(76p)
- 判取帳
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(231p)
- 判取帳 → 袋帳綴 (フクロチョウトジ)
藤井隆『日本古典書誌学総説』(63p)
- はんぼん
版本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(76p)
- 板本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
- ひなまめほん
雛豆本 → 袖珍本
- 長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
- 雛豆本 → 豆本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(63p)
- ひょうじゅんがたおりほん
標準型折本
藤井隆『日本古典書誌学総説』(57p)
- ひらひもとじ
平ひも綴
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(68p)
- ふくろさっし
袋冊子
吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図
書館雑誌』第42号(428p)
- ふくろじたて
袋仕立
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(243p)
- ふくろつづりそうほん
袋綴装本 (明朝装・康熙装・朝鮮装)
山本信吉『古典籍が語る 書物の文化
史』(74p)
- ふくろちょうとじ
袋帳綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』(63p)
- ふくろとじ
袋とじ → 線装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』(22p)
- 袋とじ
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』(21p)
- 袋とじ
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(243p)
- 袋とじ
藤井隆『日本古典書誌学総説』(64p)

袋とじ

国文学研究資料館 第61回展示解説書

袋綴

山岸徳平『書誌学序説』(106p)

袋綴じ

杉浦克巳『改訂版 書誌学』(37p)

袋とじ

『広辞苑』第5版』(2322p)

袋綴じ

中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(91p)

中野三敏『和本教室四 和本のできるまで』『図書』岩波書店 2008.9 (62p)

袋綴じ

杉浦克巳『改訂版 書誌学』(37p)

袋綴

吉澤義則『図書館雑誌』220号 (422p)

袋綴

日本書誌学会『書誌学 第参卷 第五号』(55p)

袋綴

伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』(48p) 1966

袋綴

川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』(113p)

袋綴

山岸徳平『書誌学序説』(106p)

袋綴

川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(243p)

袋綴 → 線装

橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(108p)

→ 糸とじ

橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(110p)

袋綴

国文学研究資料館 第61回展示解説書

袋綴

藤井隆『日本古典書誌学総説』(64p)

袋綴

広庭基介・長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』(68p)

袋綴 → 線装本別名袋綴

藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol.98.No.2 (106p)

袋綴

中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(30p)

袋綴 (ふくろとじ)

国文学研究資料館「和書のさまざま」

袋綴

櫛笥節男『書庫渉猟』(33p)

袋綴装 (ふくろとじそう)

藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9 N0.436 (51p)

ほうじょう

法帖 → 折本

杉浦克巳『改訂版書誌学』(34p)

法帖

中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(35p)

法帖

櫛笥節男『書庫渉猟』(23p)

ほうじょうじたて

法帖仕立て → 折帖仕立て

中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(76p)

法帖仕立

長澤規矩也『書誌学序説』(45p)

法帖仕立 → 帖装本

長澤規矩也『図解図書学』(48p)

- 法帖仕立
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（252p）
- ほうじょうとじ
法帖綴じ → 折本
杉浦克己『改訂版書誌学』（34p）
- ぼうずとじ
坊主綴 → 中綴
池上幸二郎・倉田文夫『本の作り方』和
本仕立て（24p）
- ほうはいそう
包背装
『書誌学』第参卷 第五号（55p）
包背装
長澤規矩也『書誌学序説』（57p）
包背装
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』
（112p）
包背装
長澤規矩也『図解図書学』（56p）
包背装
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
包背装
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入
門』（21p）
包背装 → 包み表紙
山岸徳平『書誌学序説』（107p）
包背装
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（253p）
包背装
橋本不美男『原典をめざして 古典文学
のための書誌』（106p）
包背装
藤井隆『日本古典書誌学総説』（66p）
包背装
国文学研究資料館 第61回展示解説書
包背装
- 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（253p）
包背装
国文学研究資料館 第61回展示解説書
包背装（包み表紙・くるみ表紙）
藤井隆『日本古典書誌学総説』（66p）
包背装
国文学研究資料館 第61回展示解説書
包背装
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』（81p）
包背装（ほうはいそう）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- まきほん
→ 巻本
広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』（60p）
- まきもの
巻物 →
広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学
ぶ人のために』（60p）
- まくらぼん
枕本 → 大本
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
枕本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』（25p）
- ますがたぼん
升形本
藤井隆『日本古典書誌学総説』（76p）
枡形本
長澤規矩也『書誌学序説』（60p）
枡形本
長澤規矩也『図解図書学』（60p）
枡形本 → 大本
長澤規矩也『図解書誌学入門』（7p）
枡形本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』（25p）

- 枅形本**
 ほぼ正方形で枅の形に似ているからの称。
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(264p)
- 枅型本**
 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(68p)
- 枅形本 (ますがたぼん)**
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 枅形本**
 橋口侯之介『和本入門』(69p)
- まめほん**
- 豆本 → 袖珍本**
 長澤規矩也『書誌学序説』(59p)
- 豆本 → 枅形本**
 長澤規矩也『図解図書学』(60p)
- 豆本 → 大本**
 長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
- 豆本 → 美濃紙**
 池上幸二郎『本のつくりかた』(25p)
- 豆本**
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(231p)
- 豆本**
 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(63p)
- 豆本 (まめほん)**
 → 特小本 (とくこほん)
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
- 豆本**
 橋口侯之介『和本入門』(68p)
- みせいほん**
- 未製本**
 長澤規矩也『書誌学序説』(54p)
- みつかりほん**
- 三つ切り本 → 横本**
 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(67p)
- みのがみ**
- 美濃紙**
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(267p)
- みのし**
- 美濃紙**
 池上幸二郎『本のつくりかた』(25p)
- みのぼん**
- 美濃版 → 美濃紙**
 池上幸四郎『本のつくりかた』(25p)
- みのぼん**
- 美濃本**
 川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』(115p)
- 美濃本**
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(270p)
- みんちょうとじ**
- 明朝綴 → 袋綴**
 山岸徳平『書誌学序説』(108p)
- 明朝綴**
 橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(112p)
- 明朝綴 (四つ目綴)**
 藤井隆『日本古典書誌学総説』(66p) (図)
- 明朝綴 → 線装本**
 藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2 (106p)
- 明朝綴 → 袋綴**
 中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(30p)
- 明朝綴 (みんちょうとじ)**
 → 四つ目綴 (よつめとじ)
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
- むすびとじ**
- 結びとじ**
 植村長三郎『図書館学・書誌学辞典』

- (450p) 1967
 結びとじ → 大和とじ
 長澤規矩也『図解書誌学入門』（8p）
 1976
 結びとじ → 大和とじ
 長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（23p）1976
 結び綴じ
 中野三敏『江戸の版本 書誌学談義』（96p）1995
 結び綴じ
 『広辞苑』第5版（2599p）
 結び綴じ → 大和綴じ（やまととじ）
 『広辞苑』第6版（2841p） 2008
 結び綴（ムスビトヂ） → 大和綴
 川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』（112p）1972
 結び綴
 長澤規矩也『図解図書学 図録編』（60p）
 1974
 結び綴
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（272p）
 1982
 大和綴
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（282p）
 1982
 結び綴
 櫛笥節男「大和綴について 一歴史史料からの検証一」『書陵部紀要』第48号
 （80p）1996
 結び綴 → 大和綴
 広庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』（69p）1998
 結び綴
 櫛笥節男『書庫渉獵』（30p）2006
 結び綴（むすびとじ）
- 国文学研究資料館「和書のさまざま」
 2003
 結綴（むすびとじ）
 藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98. NO. 2
 （107p）2004
 むつはんしそうし
 六半紙草子
 長澤規矩也『書誌学序説』（61p）
 むつはんしぼん
 六つ半紙本
 長澤規矩也『書誌学序説』（61p）
 むつはんぼん
 六半本
 長澤規矩也『書誌学序説』（61p）
 六つ半本
 → 枳形本（ますがたぼん）
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
 やつはんしそうし
 八半紙草子
 長澤規矩也『書誌学序説』（61p）
 やつはんしぼん
 八つ半紙本
 長澤規矩也『書誌学序説』（61p）
 やつはんぼん
 長澤規矩也『書誌学序説』（61p）
 やまとつづりほん
 山本信吉『古典籍が語る 書物の文化史』（62p）
 やまととじ
 大和とじ
 『図解書誌学入門』（8p）
 大和とじ
 長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（23p）
 大和綴じ → 糸綴じ本

- 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本一』(84p)
大和綴じ
杉浦克巳『改訂版 書誌学』(37p)
大和綴じ
『広辞苑』第5版(2696p)
大和綴じ(やまととじ)
『広辞苑』第6版(2841p)
大和綴
大和綴
吉澤義則「和漢書の装潢について」『図書館雑誌』42号(426p)
大和綴
田中敬『粘葉考』(70p)
田中敬『粘葉考』十四 余論
大和綴(ヤマトトヂ)
上田徳三郎『製本』(29p)
大和綴
日本書誌学会『書誌学』第参卷 第五号』(56p)
大和綴(やまととじ)
伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』(48p) 1966
大和綴
長澤規矩也『書誌学序説』(58p)
大和綴(ヤマトトヂ)
川瀬一馬『日本書誌学概説 増訂版』(112p)
大和綴
長澤規矩也『書誌学序説』58p
長澤規矩也『図解図書館学』(7p. 60p)
長澤規矩也『図解書誌学入門』(8p)
長澤規矩也『古書のはなし一書誌学入門一』(23p)
大和綴
山岸徳平『書誌学序説』(102p)
山岸徳平『書誌学序説』(110p)
[大和綴に大福帳式を含めているが「綴帖装」とか「列帖装」がよい。この二つの熟語の説明がない。]
大和綴
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』(44p)
大和綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(282p)
大和綴
橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(104p)
大和綴
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』(19p)
大和綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』(64p)
大和綴
国文学研究資料館 和書のさまざま 展示解説書1990
大和綴
櫛笥節男「大和綴について」書陵部紀要第48号(80p. 81p)
大和綴
廣庭基介、長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』
大和綴
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』(33p)
大和綴
藤本孝一『古写本の姿』日本の美術9 No.436(57p) 2002
大和綴(やまととじ)
→ 結び綴(むすびとじ)
国文学研究資料館「和書のさまざま」
大和綴
大和綴・綴葉装・列帖装

- 藤森馨「古典籍装訂用語の整理に関する
試論」『図書館雑誌』Vol. 98. NO. 2 (107p)
- 大和綴
吉野敏武『古典籍の装幀と造本』(83p)
2006
大和綴
櫛笥節男『書庫涉獵』(31p)
- よここほん
横小本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(284p)
- よことじほん
横綴本 → 横本
長澤規矩也『書誌学序説』(60p)
- よこながぼん
横長本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』(25p)
- よこほん
横本
各美濃紙・半紙を横に二つ切りにしたも
のを横本という。
長澤規矩也『書誌学序説』(60p)
横本 → 大本
長澤規矩也『図解書誌学入門』(7p)
横本 → 美濃紙
池上幸二郎『本のつくりかた』(25p)
横本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(285p)
横本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(65p)
横本（よこほん）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
横本
橋口侯之介『和本入門』(69p)
- よつあなとじ
四つ穴綴じ
- 中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』(93p)
- よつきりぼん
四つ切り本 → 横本
中野三敏『書誌学談義 一江戸の版本
一』
よつはんしろうし
四半紙草子
長澤規矩也『書誌学序説』(61p)
- よつはんしぼん
四つ半紙本
よつはんぼん
四半本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(285p)
- よつめとじ
四つ目綴（又は単に四つ目）
上田徳三郎『製本』(26p)
四つ目綴 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』(33p)
四つ目綴
池上幸二郎・倉田文夫『本のつくり方』
(33p)
四つ目綴
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(285p)
四つ目綴 → 明朝綴
藤井隆『日本古典書誌学総説』(66p)
四つ目綴（よつめとじ）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
四つ目綴
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する
試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2 (106p)
四つ目綴 → 袋綴
中藤靖之『古文書の補修と取り扱い』
(30p)
四つ目綴じ → 糸とじ
橋本不美男『原典をめざして 古典文学

- のための書誌』(110p)
 りょうし
 料紙
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(253p)
 りょうめんおりちょうじたて
 両面折帖仕立
 藤井隆『古典書誌学総説』(59p)
 れっちょう
 列丁(—)
 和田維四郎『訪書餘録』(51p) 1918
 列帖(れつちょう)
 吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図書館雑誌』第42号(425p)
 吉澤義則「和漢書の装潢に就いて」『図書館雑誌』第42号(428p) 1920
 列帖(—)
 中野三敏「和本のできるまで」『図書』2008. 9 (62p)
 列綴(—)
 藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2 (108p) 2004
 れつじょうそう
 列状装(れつじょうそう)
 藤本孝一『写本の姿』日本の美術9 No. 436 (54p)
 れつちょう
 列帖装(—)
 長澤規矩也『図解図書学』(54p)
 列帖装(綴葉装)(—)
 長澤規矩也『図解書誌学入門』(6p)
 列帖装 → 大福帳式
 山岸徳平『書誌学序説』(110p)
 列帖装(れつじょうそう)(綴葉装)(てつちょうそう)
 池上幸二郎・倉田文夫『本の作り方』(61p) 1977
 列帖装(れつじょうそう)(綴葉装)(てつじょうそう)
 橋本不美男『原典をめざして 古典文学のための書誌』(96p)
 れつじょうそう
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
 列帖装(—)
 大和綴・綴葉装・列帖装
 藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2 (106p)
 列帖装(—)
 長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』(20p)
 列帖装(れつじょうそう):
 川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』(197p. 292p)
 列帖装(れつじょうそう)
 藤井隆『日本古典書誌学総説』(61p)
 列帖装(れつりょう)
 伊地知鐵男『日本古文書学提要 上巻』(47p)
 列帖装(れっちょうそう)
 国文学研究資料館 第61回展示解説書
 列帖装(れっちょうそう) → 胡蝶装
 廣庭基介、長友千代冶『日本書誌学を学ぶ人のために』(65p)
 列帖装(—)
 杉浦克巳『改訂版 書誌学』
 れつじょうそう
 国文学研究資料館「和書のさまざま」
 列帖装(れつちょうそう)
 橋口侯之介『和本入門』(32p)
 列帖装(れっちょうそう)
 『広辞苑』第5版(1833p) 1998
 『広辞苑』第6版(1924p) 2006

- 列葉装（一）
長澤規矩也『書誌学序説』（57p）1970
- 列葉装（一）
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（20p）
- れっちょうとじ
列帳閉
藤森薫「古典籍装訂用語の整理に関する試論」『図書館雑誌』Vol. 98. No. 2（107p）2004
- 列葉綴
長澤規矩也『書誌学序説』（57p）
- 列葉綴
長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』（20p）
- 列葉綴 → 胡蝶装
広庭基介・長友千代治『日本書誌学を学ぶ人のために』（65p）
- 列帖装（一）
綴葉装の異称。長澤規矩也『書誌学序説』（57p）
- 列帖綴（一）
綴葉装の異称。長澤規矩也『書誌学序説』（57p）
- 列帖（れっちょう）
吉澤義則「和漢書の装潢について」『図書館雑誌』42号（425p）
- ろくしんがんでいほう
六針眼訂法 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』
- 六針眼訂法
橋本不美男『原典をめざして』112p
- 六針眼訂法（ろくしんがんでいほう）
→ 康熙綴（こうきとじ）
国文学研究資料館「和書のさまざま」
- わそうぼん
和装本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（296p）
- わとじ
和綴 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』
- わとじ
和綴（袋綴）
遠藤諦之輔『古文書補修六十年』（18p. 104p）
- わほん
和本
長澤規矩也『図解図書学』
- 和本
長澤規矩也『図解書誌学入門』
- 和本 → 袋綴
山岸徳平『書誌学序説』
- 和本
川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』（297p）
- わほんじたて
和本仕立
長澤規矩也『書誌学序説』（55p）
- 和本仕立て
池上幸二郎『本のつくり方』（23p）